

# システムコンサルティング

システムコンサルティングは、構築するシステムの“質”と“導入費用”との費用対効果を最大化するために必要なプロセスで、システムを構築する際の“基本設計”や“基本計画”に相当するプロセスですが、システム構築のひとつのプロセスとしてではなく、“独立した業務”として位置づける必要があります。コンサルティングの過程で、経営・業務面から必要な機能を規範的に洗い出すことにより、開発機能や費用の範囲および、開発日程の観点から優先度を設定し、顧客にとっても柔軟で自由度の高いシステム導入が可能となります。

標準的なシステムコンサルティングの成果、および流れ・手順は以下の通りです。

## ■ システムコンサルティングの成果



上記のような内容を提案、討議し、最終的にコンサルティング報告書として取りまとめます。

## ■ システムコンサルティングの流れ



## ■ 主な業務実績

業務名称	業種	概要
原価管理システムの構築	物流サービス業	経営管理部門から月次で利益管理するシステムの構築指導。
販売・生産・物流・技術総合支援システムの基本設計	化学製品製造業（防水剤ほか）	販売管理、生産管理、物流管理、技術管理のシステム構築のための業務改善の指導。
利益管理システムの基本設計	化学製品製造業（カラー着色剤）	製造業における原価管理の仕組みを構築し、月次の利益管理、販売方針管理を強化する。
生産管理システムの基本設計	生産管理システムの基本設計	日次で受注情報から日程管理に落とし、生産工程毎に、進捗・実績管理を行う。
不動産・建設業の戦略情報システムの構築計画	不動産・建設業	不動産物件の取引仲介管理、分譲物件の建設過程の資金管理を行うシステムの導入指導を行う。
土地価格算定システムの改善指導	民間研究所	汎用機からパソコンによるシステム管理の導入指導を行う。
数量化3類による知的生産性の解析	民間研究所	大手の製造業、サービス業等の技術部門の知的生産性を統計解析により診断報告書を出力。
IT研修	民間研究所	「経営にITをどのように活用するか」システム構築に先だって研修を実施。
ソリューション提案の実践—ものづくりを支援するIT—	経済産業省	現場SEを養成するために、受講者と一緒に、実際の現場に赴き、ヒアリングからシステム提案の一連の過程を実践的に研修を行う。
経営現況診断	食品製造業 プレス加工 Oリング製造他	2~3日程度の簡易診断

# システム開発

## ■ システム開発の手順

システム構築を「成功に導く鍵」として下記のようなことに留意して開発を進めております。

第1に「**業務改革・改善を優先**」することです。すなわち、

- 経営から説く－経営上の課題とITによる解決策をわかりやすく明示すること
- 現場に役立つという実感（効果の明示、計測の計測）を提案する
- 現場の力で対応できるという実感（予算、スケジュール、人、体制）を提案する

第2に、いきなり完璧な仕組みを求めるのではなく、「**段階的に優先度の高い機能から開発**」をすすめることです。

当面の開発範囲と将来展開の構図の明示することです。すなわち、

- IT技術の変化がめまぐるしい
- 現場の業務に見合ったシステムの操作や利用の仕方が開発当初には予測しにくい。
- 業務の多様化や仕事の仕方（業務手順）が変化することにより、開発時に予想できない仕様が発生し、データ項目・入力項目の追加・変更が頻繁になる。

第3に、「**システムの「運用設計」を重視**」する。すなわち、

- システムが導入されてから、現場でどのように利用・運用されるかを、現場でどのように運用されるかを、現場ヒアリングを通して、運用シナリオをつづることにより、実際の運用設計を行う。
- システム導入後の顧客のシステムの維持体制と運用体制の整備を図る。

第4に、成功するための条件を考慮する前に、「**失敗の条件**」を作らないことが重要な鍵です。

- 一般的に、成功するための条件を考えるよりも、失敗しない条件を作ることができれば、少なくとも完璧に成功しなくとも失敗することはありません。
- 動かないコンピュータの多くは**失敗の条件**を忘れているといえます。

第5に、「**ものづくりの手順**」を踏み、「**ソフト開発の3S（整理・整頓・習慣）**」・見える化を推進する。

システム構築のプロセスは伝統的な「ものづくり」と類似しています。システム構築の独自の特徴はありますが、まず、**ものづくりの手順を踏む**ことが重要な鍵です。

<ものづくりとソフトづくりの共通点>

— つくるプロセスは共通している —

- ① 基本計画・設計・費用見積・顧客承認
- ② 仕様書・設計書の作成
- ③ 製作・開発のプロジェクト管理
- ④ 出荷検査・出荷
- ⑤ 据付・試運転
- ⑥ 検収・操作研修

<ソフトづくり固有の特徴>

- ① 開発のプロセスが見えにくい
- ② したがって、障害・トラブルが見え難い
- ③ 設計標準、開発標準が明確になりにくい
- ④ 検査項目が曖昧かつ膨大
- ⑤ 工房的色彩が強い、個人色が強い

<ソフトづくりはものづくりの手順を踏む>

- ① モノづくりは手順を誤ると失敗の結果が歴然と見えるが、ソフトづくりは手順を誤っても外見上は正常でも致命的な障害があとから露見しつくり直しとなることが多い。
- ② ソフトづくりを業とする組織は「工房」であってはならない。あくまでも「工業」でありかつ「サービス業」である必要がある。
- ③ ソフトづくりプロセスの「見える化」と、3S（整理、整頓、習慣）の推進

## ■ 主な業務実績

### 【不動産鑑定評価ソフトの関連業務のシステム構築】

案件名	顧客
取引事例閲覧システム	公益法人
賃料評価システム	不動産コンサルタント
標準宅地鑑定評価チェックシステム（H21年度、H24年度）	公益法人
マンション事例の動向分析システム（WEB）	公益法人
不動産の地図表示システム（WEB）	公益法人
一般鑑定評価システム	民間コンサルタント
土地価格算定システム	民間コンサルタント

### 【その他の主なシステム構築】

案件名	顧客
生産管理システム — 製販統合管理システム —	製造業
月次利益管理システム	民間コンサルタント
知的生産性の向上診断システムの開発（K I S）	民間コンサルタント
管理者の能力診断システムの開発	民間コンサルタント
経営診断エキスパートシステム（財務診断・問診表による診断）	中小企業庁
土地利用診断エキスパートシステム	民間研究所
設計・開発部門のプロジェクト管理システム（予算、スケジュール）	民間研究所
能力、適正診断システムの開発	民間コンサルタント
店舗立地評価モデルの開発（ハフモデル）	民間コンサルタント
離散型シミュレーションモデルの開発	民間研究所
待ち行列モデルによる駐車場容量の算定シミュレーション	民間コンサルタント
地図情報システムの開発（市町村、メッシュ版）	民間コンサルタント
開発途上国地域開発支援ゲーミングシミュレータの開発	米国（ロックフェラー財団）
P A N G E A シミュレータの開発	国際連合地域開発センター
大都市大震災軽減化特別プロジェクト —災害対策本部要員の応急対応訓練用シミュレータの制作—	文部科学省